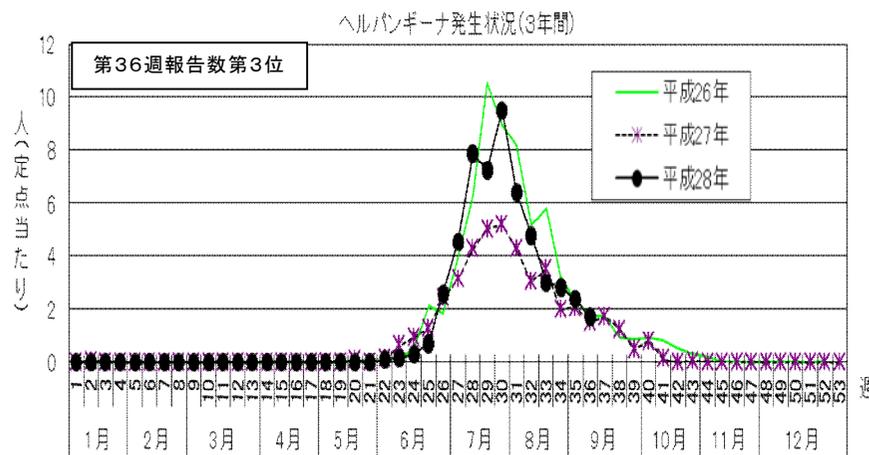
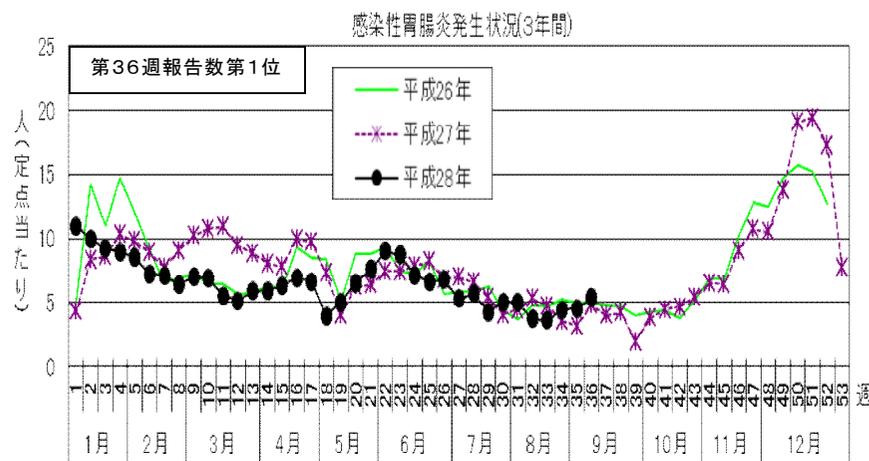


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年9月5日（月）～平成28年9月11日（日）〔平成28年第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) ヘルパンギーナでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.42人と前週（4.58人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（1.19人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は1.67人と前週（2.36人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



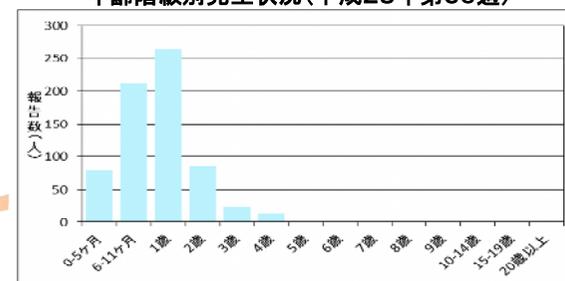
急増しています！！～RSウイルス感染症～

RSウイルス感染症は、例年、秋～冬にかけて流行がみられる呼吸器感染症です。今年は6月、7月にも報告がありましたが、第33週（平成28年8月15日～8月21日）以降急増し、第36週（平成28年9月5日～9月11日）には定点当たり報告数が2.03人となり、過去10年間で最多となりました。特に宮前区からの報告が多く、第36週は定点当たり6.67人でした。

川崎市におけるRSウイルス感染症発生状況
—平成28年と過去5年間平均の比較—



川崎市におけるRSウイルス感染症
年齢階級別発生状況(平成28年第36週)



感染を拡げないために！！

- ・感染リスクが高いのは0～1歳児です。大人からの感染を防ぐために、咳などの呼吸器症状がある方はマスクを着用しましょう。
- ・子供たちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。
- ・流水や石鹸による手洗い又はアルコール製剤による手指衛生を心掛けましょう。

